

2005年9月アルゼンチンの経済情勢

2005年10月作成
在アルゼンチン大使館

1. 概要

(1) 第2四半期のGDPは前年比で10.1%増、7月の経済動向指数も前年比で7.8%増と堅調に推移した。8月の消費は耐久財などが好調で、8月の生産も自動車や建設関係を中心に好調だった。市場見通しでは、今年の経済成長率は7.6%と予測されている。

政府は、様々な機会に、経済成長強化のための投資拡大の必要性を指摘するとともに、いくつかの投資促進策を発表した。

(2) 9月の消費者物価指数は、果物・野菜及び衣類などの価格が上昇したことから、前月比1.2%上昇した。他方、先月に続き、政府による物価上昇抑制を図る動きが見られた。

先月に続きスト及び賃金引上げ等があった一方、雇用・賃金ともに引き続き増加した。

(3) 来年の予算案が議会に提出され、来年の中央政府全体のプライマリー財政黒字は対GDP比3.26%の193億ペソと見込まれている。

国債価格・株式指数ともに上昇し、カントリーリスク指数は大きく低下した。為替レートは安定的に推移し、マネタリーベースは目標の範囲内に収まった。

新たにBoden2015債8億ドルの入札が行われたが、政府の希望を上回る利回りが提示されたため、落札されなかった。

8月のプライマリー財政黒字は前年比4.8%減となったが、9月の税収は前年比24.0%増と引き続き好調だった。

(4) 8月の貿易は、輸出額が過去最高を更新し、貿易黒字も高水準を維持した。9月の対ブラジル貿易赤字は、引き続き高い水準となった。

ボリビア及びベネズエラとエネルギー分野等での協力が約束されたほか、メキシコ及びロシアとの通商協議も前進した。

2. 経済の主な動き

(1) 投資・エネルギー関係

(イ) 8日、投資案件向けの中長期融資を促進するため投資案件の評価等を行う開発金融機構(UFIDE)の創設が発表された。

これまでラバーニャ経済相は度々投資拡大の必要性を指摘していたが、13日、キルチネル大統領も、経済成長を強化するため投資の対GDP比率を23%まで2ポイント引き上げなければならないと指摘するとともに、中小企業と海外投資の促進を進めると述べた。

28日、中小企業が資本財の購入等のために使用した利益を2年間にわたり法人に係る所得税から控除できるとする中小企業投資減税法案が議会に提出された。

(ロ) 22日、アグアス・アルヘンティーナ社の臨時株主総会が開催され、主要株主である

フランスのスエズ社やスペインのアグアス・デ・バルセロナ社などの賛成により、同社の水道コンセッション事業からの撤退が決定された。

(ハ) 29日、亜とチリを結ぶメンドーサ以北では初めての舗装道路の開通式が行われた。

(二) 先月発表された民間イニシアティブ制度に基づき、高速道路建設についての各種提案が行われた。

また、プエルトマデロ地区の各種開発計画が相次いで表明された。ブエノスアイレス市の高級住宅地区では、不動産価格が上昇する一方、新規建設が活発に行われている。

(ホ) 1日、気温低下により天然ガスの消費が増加したことから、天然ガスのチリへの供給及びコルドバでの企業向け供給が一部制限された。

(ヘ) 1日、世銀及びナシオン銀行の出資により、二酸化炭素排出削減提案に対し融資を行うアルゼンチン炭素基金が設立された。

(2) 物価・賃金関係

(イ) 1日より、大口使用者に対する天然ガス販売が自由化され、直接交渉により価格を自由に定める形式に変更された。これにより大口使用者が支払う天然ガス料金は最大40%値上がりすると見られている。

12日、電力使用合理化計画(PUREE)の変更が公布され、電力消費を削減できなかった際の課徴金が軽減された。これにより、今月の物価上昇率が0.3%ポイント程度押し下げられると見られている。

今月初め、国際的な原油価格の上昇に伴い、石油各社は国内燃料価格の値上げの必要性に言及したが、キルチネル大統領は同業界の新たな値上げを認めない旨の発言を行い、その後、石油各社は当面値上げする考えはないと述べた。

(ロ) 8月の飲食料品の消費者物価が大きく上昇したことを受け、7日、キルチネル大統領がスーパーマーケット業界を批判する発言を行うとともに、経済省は、商品表示規制違反があったとして、大手スーパー3社に罰金を科した。

15日、亜国政府と食肉業界は90日間にわたり牛1/2頭のキロ当たり平均価格を8月下旬の水準に維持する合意書に署名した。また、26日、政府はスーパーマーケット業界とも同様の合意を行った。一方、生産団体は同合意を批判している。

(ハ) 原油生産労働者・医療関係者・アルゼンチン航空のパイロット及び技術者・漁業労働者などによるストが行われた。

(二) 12日、キルチネル大統領は、最低年金支給額を現行の月350ペソから390ペソに引き上げることを発表した。対象者は、年金受給者の約70%に当たる250万人に上る見込み。9月に遡及して適用される。社会保障の独自財源により賄われ、月94.5百万ペソの支出増となる。03年5月のキルチネル大統領就任以来7回目の引上げとなる。就任当時は月150ペソだった。

警備会社業界と労組は、約40%の賃金引上げで合意した。最低賃金は月594ペソから800

ペソに引き上げられ、さらに 100 ペソが商品券で支払われる。対象者は 15 万人に上る見込み。

29 日、政府は、今年 1 月以降民間企業に支払いを義務づけていた月 100 ペソの特別手当について、10 月 1 日以降、給与に組み入れることを決定した。しかし、多くの企業では、これまでの賃上げ合意において、この手当を既に給与に組み入れているため、影響は限定的と見られている。

(3) 金融・財政関係

(イ) 14 日、国連首脳会合における演説で、キルチネル大統領は、亜の経済回復過程において亜を支援しなかったとして IMF を批判した。

24 日、IMF 国際通貨金融委員会において、チリの財務相が、アルゼンチン等を代表して行った演説の中で、「亜政府はその経済プログラムに対する IMF の金融支援を得ることを切望しており、IMF プログラムの中でホールドアウトの問題に対応する前向きな戦略を表明するつもりである」と述べた。

これに関し、27 日、ラバーニャ経済相は、「これらの IMF プログラムの枠組みの中にあるホールドアウトとは、民間債権者ではなく、パリクラブやスペインなどとの二国間合意のことである」と強調し、「民間債権者に対して準備されているものは何もない」と述べた。また、IMF との対話を再開する「期日も日付も何もない」と述べた。

(ロ) 8 日、中銀は、輸出前信用について取引を厳格化する通達を公布した。

15 日、中銀は、輸出で得た外貨の流動化義務の例外として、新規投資又は輸出拡大のため中長期の外貨資金を調達する担保として外貨を提供することを認める通達を公布した。

26 日、中銀は、国外資金による不動産購入について取引を厳格化する通達を公布した。

(ハ) 15 日、2006 年予算案が議会で提出され、21 日、ラバーニャ経済相が下院予算委員会において同案の説明を行った。

同案では、経済成長率について、05 年は 7.3%、06 年は 4.0% と見込んでいる。対前第 4 四半期比の物価上昇率については、05 年は 10.6%、06 年は 8.6% と見込んでいるが、ラバーニャ経済相は、今年の物価上昇率は 11% に達するかもしれないと述べた。為替レートについては、05 年は 1 米ドル 2.90 ペソ、06 年は同 2.97 ペソと見込んでいる。

06 年の中央政府一般行政部門の歳入は、前年比 11.9% 増の 1011 億ペソ、うち税収が同 11.7% 増の 780 億ペソと見込んでいる。なお、輸出税や金融取引税等の税制の改正は予定されていない。

同歳出は、前年比 12.0% 増の 937 億ペソと見込んでいる。特に、教育科学技術・経済社会インフラ関係の歳出は、20% 以上の伸びとなっている。

この結果、同プライマリー財政黒字は、対 GDP 比 3.00% の 178 億ペソ、信託基金などを加えた中央政府全体のプライマリー財政黒字は、対 GDP 比 3.26% の 193 億ペソと見込んでいる。

また、同案では、IMFとの新規合意が前提とされており、06年に期日を迎える国際金融機関向け債務119億ペソのうち97億ペソはリファイナンスされることを見込んでいる。

議会の承認なしに歳入の用途を変更できる権限（superpoderes）を首相に与える条項は盛り込まれなかったが、実際には様々な裁量権限が温存されている。

（二）一方、21日にIMFが発表した05年の世界経済見通しでは、亜の05年の経済成長率は前回4月から1.5ポイント上方修正され7.5%、06年は同0.6ポイント上方修正され4.2%と予測されている。また05年の物価上昇率は同1.8ポイント上方修正され9.5%、06年は同3.7ポイント上方修正され10.4%と予測されている。

（ホ）21日、Boden2015債8億ドルの入札が行われ、7億ドル強の応札があったが、平均利回りが政府の希望していた年率8.4%を上回る8.8%となったことから、政府は全ての応札に応じなかった。

（4）通商関係

（イ）14日、亜墨経済補完協定協議が行われ、10月に再度協議が予定されている。同協定が実現すれば、現在の約3千品目に約2千品目加わり、両国間の貿易財の約60%の関税が撤廃される見通し。

（ロ）16日、キルチネル大統領と会談したロドリゲス・ポリビア大統領は、ガス輸出の拡大を非公式に約束した。同合意が履行されれば、投資額14億ドルの北西部ガスパイプライン1500キロの建設が開始できると見られる。正式には、12月のポリビア総選挙後の新政権が確約することになると見られる。

（ハ）26日、キアラディア外務副大臣は、亜露二国間通商合意に向け大きな前進があったと述べ、10月に再度協議が予定されている。同合意では、亜が露のWTO加盟を支持する代わりに露が牛肉や果実などの亜国産品に対する市場開放を進める見通し。

（二）29日、キルチネル大統領は、チェベス・ベネズエラ大統領と、両国の石油会社による亜でのガソリンスタンドへの投資やベネズエラによる亜企業への石油タンカー建設発注及び亜の農機具購入に関する合意文書に署名した。

3. 経済指標の動向

（1）経済活動全般

第2四半期のGDP（INDEC発表）は、前年同期比で10.1%増、前月比で2.4%増、上半期では前年同期比9.1%増となり、実質GDPは1998年の水準を上回った。特に国内総固定投資が前年同期比24.4%増と大きく伸びたが、GDPに占める割合は20.1%に留まっている。内訳は、設備投資が同35.7%増、建設投資が同18.0%増となった。設備投資では、国産品が同11.4%増、輸入品が同62.0%増となった。経済活動別では、農牧業が同25.2%増、建設業が同17.9%増、運輸・通信業が同16.6%増、金融仲介業が同16.0%増などとなった。

7月の経済動向指数（INDEC発表）は、前年同月比で7.8%増、前月比で0.7%増となり、経済は引き続き堅調な成長を続けている。7ヶ月の累計では前年同期比で8.9%の増加となった。また、中銀が民間エコノミストの予測を集計し発表している市場見通しREM（10/5集計）では、今年の経済成長率は、前回（9/7）に比べ0.2ポイント上方修正され、7.7%と予測されている。

（2）消費

（イ）8月のショッピングセンター売上高（INDEC発表）は、前年同月比で18.7%増、前月比では3.1%増と好調だった。一方、8月のスーパーマーケット売上高（INDEC発表）は、前年同月比で4.7%増、前月比では0.6%減と不調だった。8月の飲食料品の物価上昇率が高かったことが影響したと見られている。

また、第2四半期の家電販売（INDEC発表）は、前年同期比43.4%増と引き続き好調だった。特に、コンピューター関連が同90.7%増、映像機器が同65.3%増と引き続き大きく伸びた。

（ロ）8月の公共サービス消費（INDEC発表）は、前月比6.0%増、前年同月比22.3%増となった。特に携帯電話は、電話機が前年同月比78.5%増、通話が同75.0%増と、引き続き大きく伸びた。

（ハ）自動車協会（ADEFA）が発表した9月の自動車販売台数は、季節要因により前月比では9.4%減少したものの、前年同期比では32.4%増加した。

（3）工業生産・建設活動

（イ）8月の工業生産指数（INDEC発表）は、前年同月比7.6%増、前月比1.6%増と好調だった。自動車の前年同月比32.1%増、その他建設資材が同29.9%増、植物油が同28.6%、セメントが同28.2%増などと好調だった。

8月の稼働率は73.1%となり、前月に比べ1.1ポイント上昇した。特に、基礎金属は95.8%、石油精製は90.9%、繊維、製紙も80%超と、高水準が続いている。

9月の見通しは、内需については、73.1%の企業が安定的、25.0%が上昇すると見ている。輸出については、62.7%が安定的、31.4%が上昇すると見ている。輸入については72.6%が安定的、23.5%が上昇すると見ている。

（ロ）8月の建設活動指数（INDEC発表）は、前年同月比で24.8%増、前月比では4.0%増となり、非常に好調だった。

9月の見通しについては、主に公共工事を手掛ける企業は、46.9%が上昇、51.1%が変化しないと見ている一方、主に民間工事を手掛ける企業は、26.1%が上昇、69.6%が変化しないと見ている。

（ハ）自動車協会が発表した9月の自動車生産台数は、前月比では0.8%減少したものの、前年同月比では16.0%増加した。

(4) 物価・雇用

(イ) 9月の消費者物価指数（INDEC発表）は、前月比1.2%上昇し、1～9月の累計では8.9%の上昇となった。季節要因により、飲食料品が前月比2.5%、衣類が同4.5%上昇し、特に果物が同10.7%、野菜が同18.9%、上着が同7.3%と大きく上昇した。一方、電力消費に係る罰金の軽減により住居関係費は同1.2%、季節要因により娯楽費は同0.5%低下した。

季節性の大きいもの及び価格規制を受けているものを除いた残余消費者物価指数は、前月比0.9%上昇し、1～9月の累計で10.3%の上昇となった。

また、卸売物価指数は前月比1.7%の上昇となった。特に、原油及びガスは同11.4%上昇した。

市場見通しREMでは、今年の物価上昇率は、前回より0.2ポイント上方修正され、11.1%と予測されている。

(ロ) 8月の民間正規雇用者数（労働省発表）は前年同月比9.5%増、前月比1.1%増となり、35ヶ月連続の増加となった。

市場見通しREMでは、今年の失業率は、前回と変わらず10.9%と予測されている。

また、INDECの発表によれば、第2四半期に、43.8%の企業が求人活動を行い、13.5%の企業は要員を補充できなかった。特に、衣類・機械等・非金属製品の製造業で同割合は高かった。

(ハ) 8月の給与指数は、前月比1.52%増となった。

市場見通しREMでは、今年の賃金上昇率は、前回より1ポイント上方修正され、15.0%と予測されている。

(5) 金融

(イ) 9月は、堅調な経済成長、インフレ期待、新興市場への資金流入などにより、国債価格は上昇し、一方、カントリーリスク指数であるEMBI+は、先月に比べ90ポイント低下し、9月末時点で349ポイントとなった。また、メルバル指数も連日高値を更新し、9月末時点では前月比7.2%の上昇となる1695ポイントとなった。

(ロ) 外国為替市場は、一時中銀による大規模なドル買い介入が行われたものの、比較的落ち着いた動きとなった。9月末の外貨準備高は微増の256億ドルとなった。

(ハ) 中銀は、中銀債であるLebac債発行などにより、過剰流動性の解消に努めた。この結果、9月末のマネタリーベースは、前月に比べ30億ペソ近く減少して526.43億ペソとなり、第3四半期の目標値である上限539.80億ペソ、下限498.99億ペソの範囲内に収まった。

(6) 財政

(イ) 経済省が発表した8月の財政収支は、前年同月に比べ、歳入が23.5%増加する一方、歳出が29.8%の増加し、プライマリー財政黒字は前年同月比で4.8%減の約18億ペソとなった。この結果、今年1月から8月までのプライマリー財政黒字の合計額は約153億ペソとなった。06年予算案では、05年のプライマリー財政黒字を、対GDP比3.46%の183億ペソと見込んでいる。

(ロ) 経済省が発表した9月の税収は、前年同月比で24.0%増加し、9,887百万ペソとなった。経済の好調などにより、法人及び個人に係る所得税収が前年同月比38.4%増の1,500百万ペソ、付加価値税収が同23.4%増の2,759百万ペソ、輸出税収が同9.6%増の881百万ペソ、社会保障雇用主負担金が23.2%増の867百万ペソなどとなった。

(7) 貿易

(イ) 8月の貿易(INDEC発表)は、輸出が前年同月比29%増の3,786百万ドルとなった一方、輸入も同29%増の2,625百万ドルとなり、貿易黒字は同28%増の1,161百万ドルとなった。農作物の収穫時期でなかったにもかかわらず、輸出額は過去最高を更新した。

輸出は全分野で増加したが、特に、価格上昇により原油の輸出は前年同月比82%増の290百万ドルとなった。また、ブラジル及びメキシコからの持続的需要にベネズエラからの需要が加わり、陸上輸送機器も同60%増の308百万ドルとなった。植物油も同48%増の391百万ドル、食品工業くずも同34%増の406百万ドルとなった。

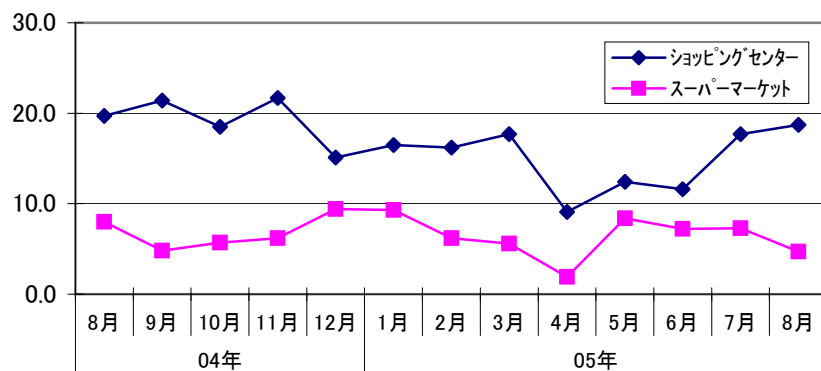
輸入も全分野で増加したが、ブラジルからのトラック及び携帯電話機、アメリカからの航空機など資本財が同42%増の636百万ドル、自動車関連などの資本財部品が同30%増の431百万ドル、履物など消費財が同39%増の286百万ドル、乗用車が同59%増の205百万ドルとなった。

(ロ) 9月の対ブラジル貿易は、輸入が888百万ドルとなる一方、輸出が523百万ドルに留まったことから、貿易赤字は前年同月比132%増の365百万ドルとなり、先月に続き高い水準となった。

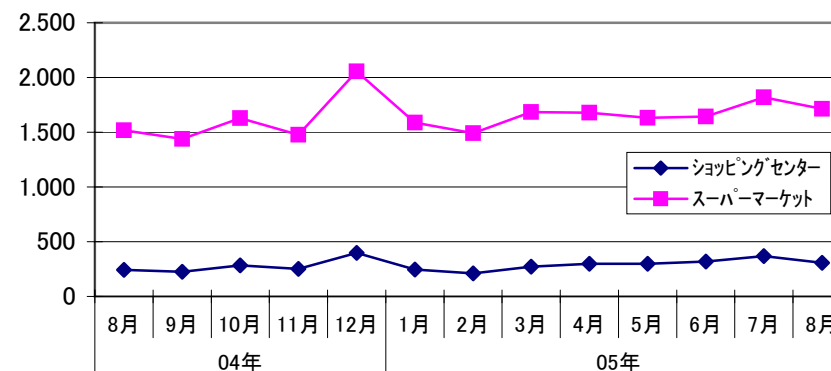
(2)消費

	ショッピングセンター売上高				スーパーマーケット売上高				自動車販売台数	
	名目		実質		名目		実質		前期比 %	前年比 %
	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %		
02年		5.9				11.8				▲ 53.4
03年		39.8				9.6				89.0
04年		33.5				10.3				100.4
04年 8月	▲ 11.7	21.3	2.1	19.7	▲ 2.4	6.6	1.8	8.0	3.6	89.2
9月	▲ 6.3	34.6	3.7	21.4	▲ 5.3	12.3	▲ 1.4	4.8	▲ 3.8	44.5
10月	25.2	38.0	▲ 1.1	18.5	13.3	16.5	1.8	5.7	▲ 3.0	54.4
11月	▲ 10.8	24.5	5.3	21.7	▲ 9.3	5.3	▲ 0.1	6.2	1.6	49.6
12月	56.9	30.3	▲ 1.5	15.1	39.1	15.6	4.1	9.4	6.3	52.5
05年 1月	▲ 38.0	34.7	3.3	16.5	▲ 22.8	14.4	▲ 0.6	9.3	11.9	44.0
2月	▲ 14.4	19.0	▲ 2.0	16.2	▲ 5.9	6.9	▲ 0.4	6.2	▲ 14.7	33.8
3月	29.1	31.6	2.0	17.7	12.8	16.1	0.2	5.6	28.9	40.8
4月	10.1	28.2	▲ 0.8	9.1	▲ 0.4	14.3	▲ 2.0	1.9	▲ 3.4	35.7
5月	▲ 0.7	20.3	3.5	12.4	▲ 2.8	11.6	5.4	8.4	▲ 0.4	21.2
6月	6.9	23.7	0.9	11.6	0.8	15.5	▲ 2.3	7.2	3.6	26.1
7月	16.2	34.9	1.1	17.7	10.6	17.1	0.7	7.3	▲ 4.0	22.1
8月	▲ 16.9	26.9	3.1	18.7	▲ 5.8	12.9	▲ 0.6	4.7	19.8	40.9
9月									▲ 9.4	32.4

消費動向(前年同月比)



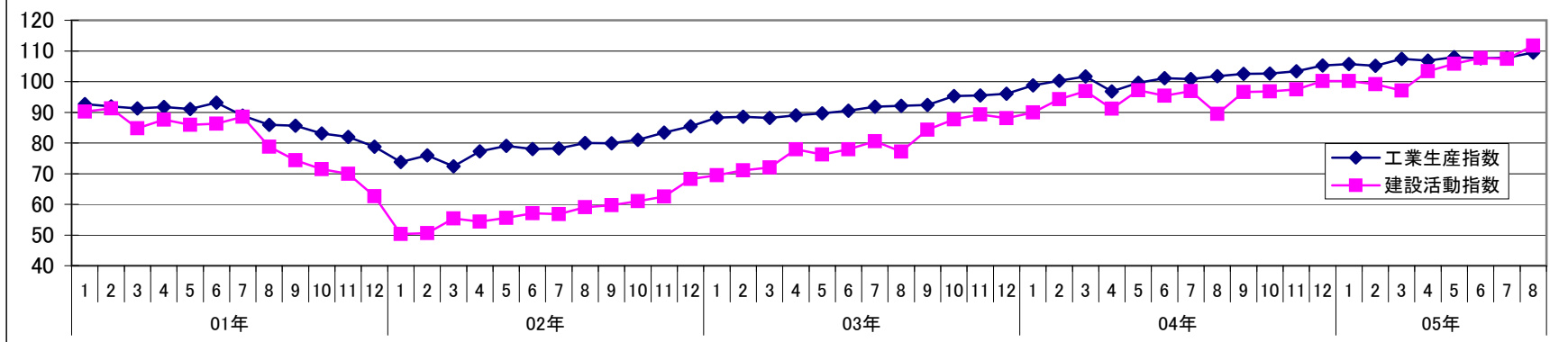
消費動向(売上高実数・百万円)



(3) 工業生産・建設活動

	工業生産指数						建設活動指数		自動車生産台数			
	前期比 %	前年比 %	乳製品 前年比 %	植物油 前年比 %	織物 前年比 %	石油精製 前年比 %	セメント 前年比 %	粗鋼 前年比 %	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前年比 %
02年		▲ 10.6	▲ 18.5	13.8	-	▲ 3.9	▲ 27.6	6.4		▲ 28.3		▲ 32.3
03年		16.2	▲ 10.6	12.7	-	3.9	31.3	14.6		37.8		6.4
04年		10.7	21.1	▲ 1.3	-	2.2	15.6	1.2		19.9		53.5
04年 8月	1.0	10.5	32.5	0.7	9.6	2.0	9.5	▲ 2.4	▲ 7.6	15.9	11.2	53.5
9月	0.7	10.9	22.2	▲ 6.8	15.1	9.2	11.1	0.3	7.9	14.6	8.8	56.9
10月	0.1	7.7	18.1	▲ 6.2	11.9	8.3	3.1	5.7	0.2	10.4	▲ 0.7	52.3
11月	0.8	8.2	20.3	▲ 1.5	9.7	▲ 7.6	5.4	11.2	0.7	9.2	13.4	48.7
12月	1.8	9.7	17.3	▲ 1.9	7.2	5.3	18.3	7.9	2.8	13.7	▲ 21.0	69.3
05年 1月	0.4	7.1	12.0	▲ 6.0	0.4	▲ 5.9	20.0	5.9	0.0	11.3	▲ 5.5	79.3
2月	▲ 0.5	5.3	6.2	5.2	3.3	8.6	5.1	2.2	▲ 1.0	5.2	▲ 40.3	▲ 9.1
3月	2.1	5.8	8.2	4.1	10.8	0.1	11.6	10.9	▲ 2.1	0.2	117.1	25.9
4月	▲ 0.5	10.3	12.2	10.6	7.3	▲ 0.9	27.0	14.3	6.5	13.4	▲ 1.3	34.3
5月	1.0	8.4	7.3	8.1	12.2	▲ 3.5	26.4	14.5	2.3	8.8	▲ 3.3	24.0
6月	▲ 0.4	6.4	5.2	8.0	8.8	▲ 4.4	12.7	9.1	1.8	12.9	▲ 0.4	18.2
7月	0.2	6.6	2.8	16.6	8.9	▲ 7.6	23.3	5.0	▲ 0.3	10.8	4.3	30.7
8月	1.6	7.6	2.3	28.6	13.7	2.5	28.2	7.6	4.0	24.8	8.1	27.1
9月											▲ 0.8	16.0

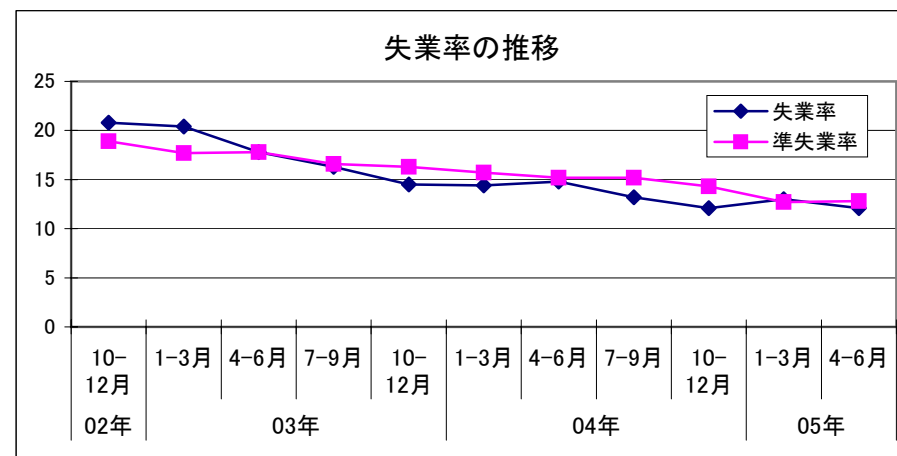
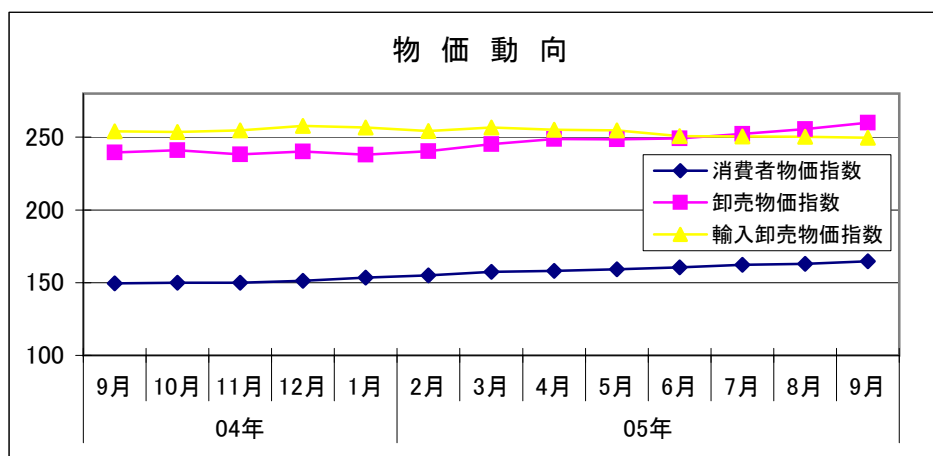
工業生産指数・建設活動指数の推移



(4) 物価・雇用

	消費者物価指数				卸売物価指数				給与指数
	財		サービス		輸入卸売物価指数		前期比 %		
	前期比 %	前年比 %	前期比 %	前期比 %	前期比 %	前年比 %			
02年		41.0				118.0		204.5	
03年		3.7				2.0		▲ 11.4	
04年		6.1				7.9		7.1	
04年 9月	0.6	5.9	0.9	0.2	0.2	11.2	▲ 0.6	7.2	0.32
10月	0.4	5.7	0.3	0.6	0.6	11.3	▲ 0.2	8.1	0.12
11月	0.0	5.4	▲ 0.1	0.2	▲ 1.2	8.7	0.4	8.6	0.40
12月	0.8	6.1	0.7	1.1	0.9	7.9	1.2	7.1	0.47
05年 1月	1.5	7.2	0.6	3.0	▲ 1.0	7.0	▲ 0.4	7.0	3.67
2月	1.0	8.1	1.1	0.8	1.1	6.8	▲ 0.9	5.0	2.05
3月	1.5	9.1	2.2	0.6	2.0	8.6	0.9	5.7	0.67
4月	0.5	8.8	0.6	0.4	1.5	9.2	▲ 0.6	6.1	1.30
5月	0.6	8.6	0.3	1.1	▲ 0.1	7.8	▲ 0.2	3.6	1.53
6月	0.9	9.0	0.6	1.3	0.2	7.6	▲ 1.5	1.0	0.88
7月	1.0	9.6	0.4	1.9	1.3	8.1	▲ 0.1	0.1	1.64
8月	0.4	9.7	0.9	▲ 0.2	1.2	6.9	0.0	▲ 2.0	1.52
9月	1.2	10.3	1.9	0.0	1.7	8.5	▲ 0.3	▲ 1.7	

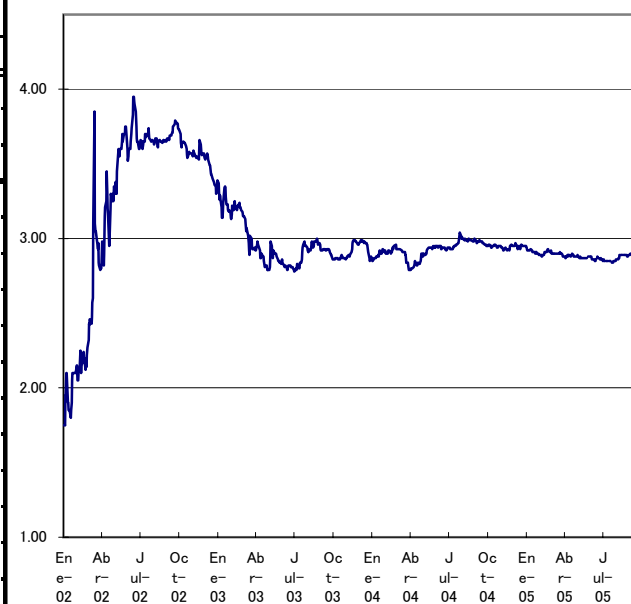
	失業率	準失業率
	%	%
02年 10-12月期	20.8	18.9
03年 1-3月期	20.4	17.7
4-6月期	17.8	17.8
7-9月期	16.3	16.6
10-12月期	14.5	16.3
04年 1-3月期	14.4	15.7
4-6月期	14.8	15.2
7-9月期	13.2	15.2
10-12月期	12.1	14.3
05年 1-3月期	13.0	12.7
4-6月期	12.1	12.8



(5) 金融

	ルバル 指数	為替	外貨準備	マネター ベース	預金残高	カントリー リスク	コールレート (ペソ翌日)
		ペソ	百万ドル	百万ペソ	百万ペソ		%
02年末	524.95	3.39	10.516	29.151	67.356	6.358	6.25
03年末	1071.95	2.96	14.119	46.391	91.486	5.361	1.50
04年末	1375.37	2.99	19.645	52.477	113.414	4.703	2.31
04年 10月末	1287.14	2.99	18.586	45.891	112.102	5.440	2.50
11月末	1213.09	2.96	18.943	48.675	112.642	5.194	2.38
12月末	1375.37	2.99	19.645	52.477	113.414	4.703	2.31
05年 1月末	1373.79	2.96	20.137	49.363	117.872	5.129	2.31
2月末	1558.62	2.93	20.792	49.664	117.859	4.853	2.31
3月末	1400.42	2.94	20.338	50.203	116.477	5.393	2.44
4月末	1348.35	2.92	20.904	49.845	122.343	6.293	2.69
5月末	1485.55	2.91	22.103	52.142	124.293	6.488	3.31
6月末	1367.41	2.90	23.052	51.424	124.711	4.62	5.44
7月末	1507.59	2.89	25.105	54.392	126.185	4.13	4.56
8月末	1581.65	2.92	25.251	55.529	127.551	4.39	4.94
9月末	1694.83	2.92	25.614	52.643	129.276	3.49	4.44

為替レートの推移



(6) 財政

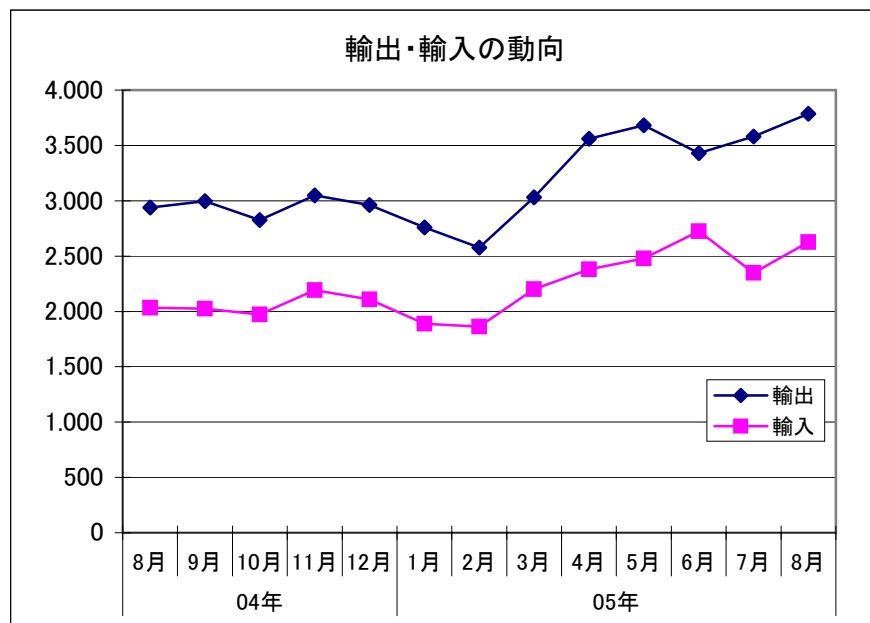
	総合収支	一次収支
	百万ペソ	百万ペソ
02年	▲ 4.549	2.260
03年	1.805	8.688
04年	11.658	17.360
04年 1-3月期	2.376	3.989
4-6月期	6.667	7.857
7-9月期	3.371	4.982
10-12月期	▲ 756	532
05年 1月	1.455	1.643
2月	184	1.390
3月	891	1.235
4月	1.900	2.244
5月	649	3.307
6月	769	1.804
7月	1.679	1.837
8月	381	1.846

	税収		所得税		付加価値税		輸出税	
	百万ペソ	前年比 %	百万ペソ	前年比 %	百万ペソ	前年比 %	百万ペソ	前年比 %
02年	50.476	11.2	8.919	▲ 11.6	15.242	▲ 0.7	5.022	9557.7
03年	72.244	43.1	14.751	65.4	20.948	37.4	9.212	83.4
04年	98.293	36.1	22.289	51.1	30.977	47.9	10.272	11.5
04年10月	8.052	28.2	1.692	54.7	2.570	33.8	894	9.0
11月	8.103	26.8	1.736	26.0	2.686	34.1	817	12.7
12月	7.993	18.4	1.084	▲ 17.3	2.662	27.9	867	21.8
05年 1月	8.803	24.0	1.729	34.9	2.970	19.3	830	29.7
2月	8.250	29.8	1.856	75.3	2.545	18.2	769	22.9
3月	8.358	26.4	1.733	66.7	2.736	18.9	970	38.5
4月	9.282	31.8	1.956	66.4	3.001	30.6	1.220	18.3
5月	12.046	▲ 2.6	3.709	▲ 31.7	3.173	28.3	1.235	14.2
6月	11.054	16.8	3.605	23.8	3.004	3.6	1.103	28.6
7月	10.012	15.0	2.081	27.0	3.014	6.9	1.130	14.1
8月	10.258	21.2	2.194	26.2	3.288	14.7	1.249	41.0
9月	9.887	24.0	2.075	38.4	3.405	23.4	966	9.6

(7)貿易

	輸出		輸入		貿易収支
	百万ドル	前年比 %	百万ドル	前年比 %	百万ドル
02年	25.709	▲3	8.990	▲56	16.720
03年	29.566	15	13.833	54	15.732
04年	34.550	17	22.445	61	12.105
04年 8月	2.939	24	2.032	78	907
9月	2.995	25	2.025	53	970
10月	2.826	17	1.973	36	854
11月	3.048	24	2.193	65	856
12月	2.962	21	2.109	39	854
05年 1月	2.759	19	1.890	18	869
2月	2.578	8	1.862	37	716
3月	3.030	14	2.200	30	830
4月	3.559	17	2.379	44	1.180
5月	3.681	8	2.478	38	1.203
6月	3.430	16	2.724	34	706
7月	3.582	18	2.349	19	1.233
8月	3.786	29	2.625	29	1.161

	地域別輸出(百万ドル)					
	メルコスール	チリ	NAFTA	EU	中国	日本
02年	5.733	2.976	3.833	5.132	1.182	371
03年	5.576	3.456	4.170	5.830	2.456	343
04年	6.770	3.856	5.041	6.082	2.622	357
04年 8月	574	352	410	500	284	15
9月	604	346	526	465	221	25
10月	643	350	460	446	153	22
11月	684	332	537	493	146	44
12月	599	370	490	519	140	7
05年 1月	539	301	411	453	70	24
2月	523	291	431	480	115	20
3月	547	343	418	537	142	9
4月	681	383	491	584	414	31
5月	636	356	433	617	627	15
6月	623	332	421	618	481	29
7月	626	396	207	559	374	33
8月	675	400	533	660	295	28



	地域別輸入(百万ドル)					
	メルコスール	チリ	NAFTA	EU	中国	日本
01年	5.910	506	4.420	4.599	1.066	767
02年	2.896	177	2.027	2.029	342	314
03年	5.167	290	2.584	2.710	742	395
04年	8.211	404	4.320	4.199	1.401	612
04年 8月	770	34	380	361	137	56
9月	742	32	436	335	151	48
10月	743	38	370	327	158	53
11月	770	41	411	438	178	58
12月	734	37	419	431	156	55
05年 1月	707	44	326	358	152	56
2月	755	36	315	336	126	48
3月	887	46	381	377	144	66
4月	901	40	438	444	153	56
5月	982	41	445	416	151	68
6月	990	52	559	460	167	52
7月	852	44	389	427	201	56
8月	1,074	56	400	431	209	69